



にじいろ通信

令和 8年 9月号

キッズケア青い鳥のWEB
予約と事前登録はこちら



水ぼうそうに注意 ⚠

日本の各地で次から次に豪雨被害が発生しています。テレビで被害の映像を見ていると、温暖化による気象変動が牙をむいているように感じます。

8月になり今治市内で水ぼうそう(水痘)が1週間に3~4人程度発生しています。

当院では8月に**13名の水痘のお子さん**を経験しました。そのうち、**6歳以上の学童のお子さんが9名と全体の7割**を占めていました。13名のお子さんの水痘の予防接種歴を調べてみると、1歳児、3歳児の2名は未接種でしたが、残りのお子さんは全例水痘ワクチンの接種歴があり、**ほとんどが2回の定期接種を完了**していました。

これは、2回の定期接種をしても、年数が経つと抗体価が低下し一定数のお子さんは発症するということを意味します。しかし、**接種歴のあるお子さんは全例、水疱が小さく数も少なく、軽症でした**。水痘ワクチンは100%の発症阻止効果はないにしても、発症しても軽症化する効果があり、有効であると言えます。**水痘の潜伏期間は2週間**です。水痘のお子さんと接触した際は、接触してから2週間前後に体に水泡のある発疹がないかどうか確認してみてください。発疹があれば必ず病院を受診してください。**水痘には治療薬があります**。

マイコプラズマ感染症

マイコプラズマ感染症は、肺炎マイコプラズマという細菌の感染によって起こる呼吸器の感染症です。

マイコプラズマに感染すれば必ず肺炎になるわけではありません。**ほとんどは感染しても軽症で自然治癒しますが、5~10%が肺炎になってしまいます**。

マイコプラズマ肺炎は、**幼児から学童期のお子さんに多く、頑固な咳が特徴です**。発熱に始まり、激しい咳が続く時は病院を受診するようにしてください。マイコプラズマには抗菌剤治療が有効です。

8月の感染症情報

手足口病が流行していましたが、お盆明けから少なくなりました。

先月に続いてマイコプラズマ感染症の発生がありました。その他、パラインフルエンザ、コロナ、水痘、ウイルス性胃腸炎などの発生がありました。

キッズケア青い鳥の
ブログはこちら



青い鳥を利用したお子様の様子などをブログで随時配信しています。
ぜひ上記のQRコードにアクセスしてみてください。



8月の利用状況

8月の利用延べ人数は78人、1日平均利用人数は4.3人でした。年齢別では、1歳児が24人で最も多く、次いで2歳児21人、3歳児14人の順でした。疾患別では、急性上気道炎が27人で最も多く、気管支炎7人、手足口病5人の順でした。

近頃は夏休みに海水浴に行くようなことはできなくなり、クーラーの効いた室内で過ごすことが多くなりました。9月はさわやかな天気になって思い切り外遊びができるようになればいいと思います。